

# 6

# アイヌの人々



アイヌの人々に対する理解が十分ではないため、就職や結婚などにおいて偏見や差別が依然として存在しています。私たち一人ひとりが、アイヌの人々の独自の文化や伝統を尊重し、アイヌの人々について理解と認識を深めていくことが大切です。

## 民族の伝統と文化

アイヌの人々は、固有の言語であるアイヌ語や伝統的な儀式・祭事、多くの口承文学(ユークラ)など独自の豊かな伝統や文化を持っています。しかし、明治維新後の「北海道開拓」などが進められる中で、いわゆる同化政策(日本人化の強制)などにより、今日では、その文化の十分な保存・伝承が図られているとは言い難い状況にあります。

## 差別意識の解消へ

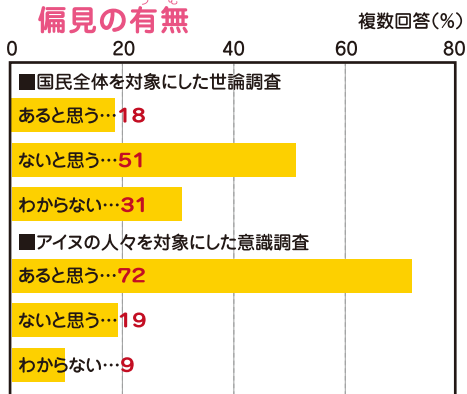
平成9(1997)年、アイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現を図ることを目的とした「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定されました。

国においては、総合的かつ効果的なアイヌ政策を推進するため、平成22(2010)年1月以降、内閣官房長官を座長とし、政府、有識者及びアイヌの人々から成る「アイヌ政策推進会議」が開催されています。

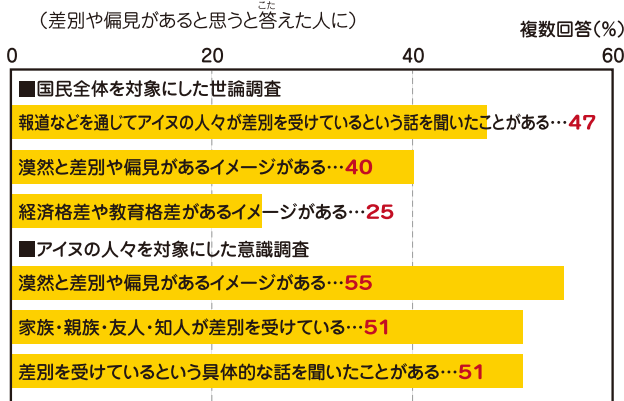
この会議における了承を得て、平成26(2014)年6月に「アイヌ文化の復興等を推進するための『民族共生の象徴となる空間』の整備及び管理運営に関する基本方針について」が閣議決定されました。

アイヌの人々の歴史や文化、伝統などへの理解を深め、人権を尊重することが大切です。

### ■アイヌの人々に対する差別や偏見の有無



### ■差別や偏見があると思う理由



資料:内閣官房・内閣府「国民のアイヌに対する理解度に関する調査」(平成28(2016)年)

